

神道のしきたり

# 節分[恵方]

コラム

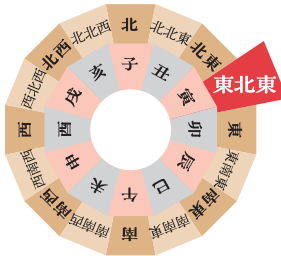
節分と聞くと「豆まき」や「恵方巻」を連想しますが、節分とは季節の節目である「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日を指します。なかでも二十四節気では春が一年の始まりであることから、「立春」の前日である春の「節分」が重要視されました。

節分に豆まきが行われるようになったのも、本来は大晦日(12月31日)に鬼を追い払い一年の無事を祈る行事ついな「追儺」が節分と一緒に行われるようになったためといわれています。

恵方とはその年の十干によって定められる、最もよいとされる方角のこと。特に恵方にはその年の福德を司る神、歳徳神がおられるとされています。

その年の恵方に向けて願いを心の中で唱えながら無言で食べる恵方巻は、関西発の風習とされていますが、近年は全国でこの行事が親しまれています。恵方の方角は毎年変わり、今年は東北東が恵方となります。

## 今年の恵方



## 祭典暦 / 令和6年2月

1	木	10:00	旬 祭	本殿
3	土	10:00	節 分 祭	本殿
10	土	10:00	旬 祭	本殿
		11:00	沖恵美酒神社月次祭	境内・末社
招福縁日 十日市 開催				
11	日	10:00	紀元祭・榎原神宮遥拝式	本殿・祓所
12	月振休	11:00	初 午 祭	境内・末社
14	水	10:00	初住吉祭	境外・末社
17	土	11:00	祈 年 祭	本殿
20	火	10:00	旬 祭	本殿
23	金祝	10:00	天 長 祭	本殿

2/25(日) 手作り市開催



神と申すのは正直なる事を好み、  
又清浄なる事を好み給ふ  
—吉田松陰(妹千代宛 書簡より)



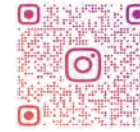
元伊弉宮總本社 **西宮神社**



〒662-0974 兵庫県西宮市社家町1-17  
Tel 0798-33-0321 Fax 0798-33-5355  
Web <https://nishinomiya-ebisu.com/>



西宮神社 公式 Instagram  
@nishinomiya\_ebisu\_official



令和六年二月行事ご案内  
西宮神社

## 初午祭 (神明神社例祭)

2/12 月  
振休  
11:00  
齋行

神事・行事

境内末社の神明神社は明治6年に戸田町にあった大阪奉行所西宮勤番所敷地内から移転遷座されました。豊受比女神に併せ稲荷神もお祀りしていることから2月最初の午の日である『初午』がお祭りの日にあたります。

初午祭の起源は稲荷社の本社である伏見稲荷大社の御祭神が和銅4年2月のこの日に三ヶ峰(稲荷山)に降臨されたことに因むもので、全国の稲荷神社では特に重要な日として祭典が行われます。

本年は12日午前11時より神明神社例祭を齋行いたします。

祭典に引き続き福餅が撒かれ、福引賞品を授与します。

又、コロナ禍で中止されていたおかめ茶屋での直会も再開いたします。



### 提灯・幟奉納募集

提灯/1灯  
16,500円

幟/1枚  
3,000円

## 自然の中の神さま

コラム

# 五十猛神

うたげののみこと

父の須佐之男命に率いられ新羅国に降る際、多くの樹種を持っていましたが、新羅国には植えず全て日本に持ち込み、筑紫の国からはじめて大八州国すべてに播きほどこされました。

これにより日本ではいたるところに樹木が生い茂り、我々の生活に大きな福音がもたらされました。

いたきそのかみ

別名「伊太祁曾神」ともいわれ、和歌山県伊太祁曾神社に祀られています。

私たちの暮らしの中にはいつも神様がお近くにおられます。自然の中にいらっしゃる神様をご紹介します。

## 木の神様



▲伊太祁曾神社

## 駐車場手洗い所竣工

お知らせ

昨年5月より解体・新築工事を進めておりました駐車場手洗い所が12月3日に竣工しました。

手洗い所と共に氏子青年若戎会の集会所も落成し、竣工祭当日は宮司を始め工事関係者、若戎会の会長・会員が参列し各々が玉串を捧げ、竣工を祝いました。

令和元年7月には表大門横の手洗い所も装いが新たになっており、境内の手洗い所が全て新しくなりましたので、ご参拝の皆様には気持ちよくご利用頂けることと存じます。

